

令和2年度 12月学校評価(7月との比較)について

○今後実社会で生きていく生徒にとって、よりよい教育環境を構築するために、保護者、地域の方の協力により学校評価アンケートを行っています。

今回のアンケートは、ほぼ同じ内容の質問に生徒、保護者、教職員が答えました。保護者の方には家や地域でのお子さんの様子も含めて答えていただいていますので、結果に差異がある場合もあります。なお、各グラフの上を書いてある質問は、実際には生徒、保護者、教職員それぞれ、少しずつ表現が異なります。

<例> 生徒用 Q5 あなたは、自分から挨拶をすることができていると思いますか。

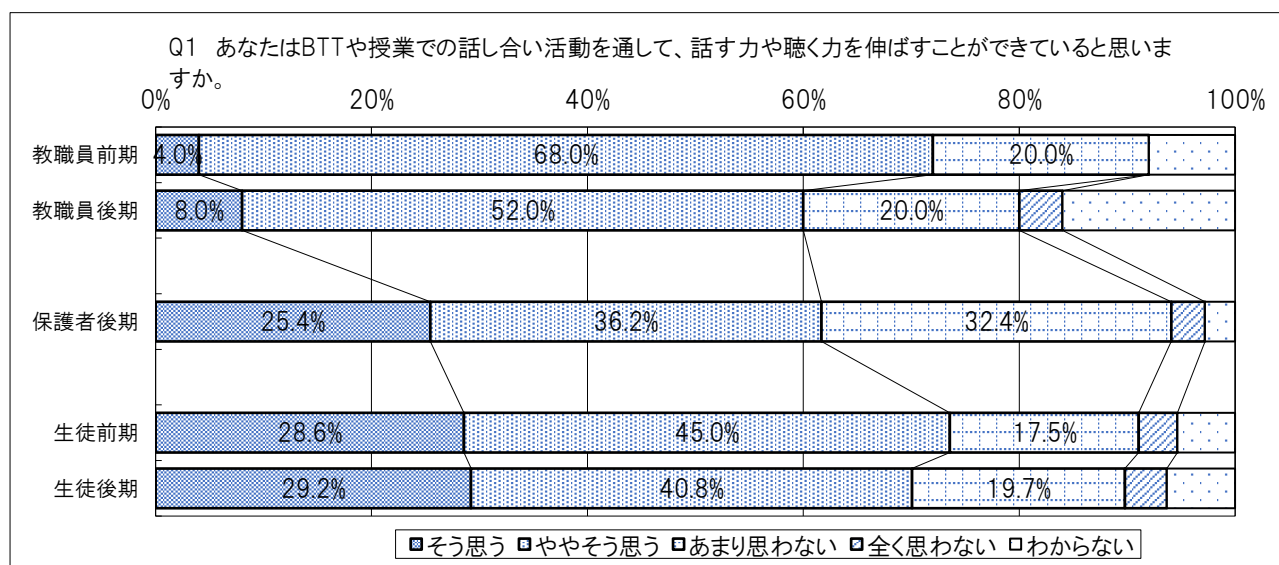
保護者用 Q5 お子さんは、自ら元気よく挨拶をすることができていますか。

(ご家庭、地域での様子も含む)

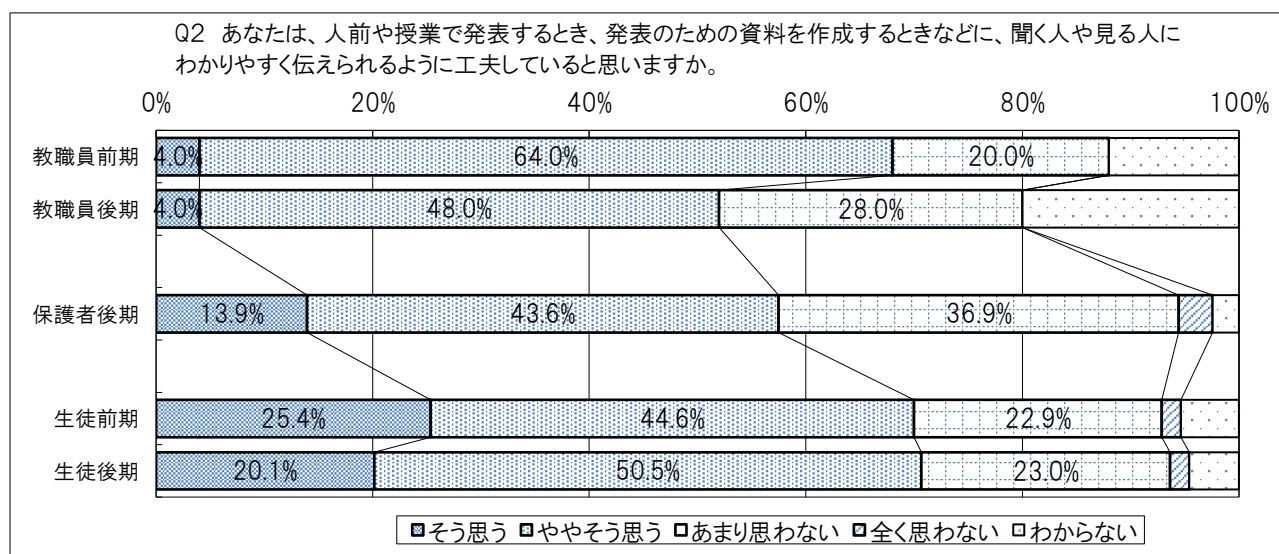
教職員用 Q5 生徒は、自ら挨拶をすることができていますか。

<アンケート結果> ※各グラフの上の質問項目は、生徒用のものを表示しています。

※保護者には回答の「わからない」を「判断できない」として答えていただきました。

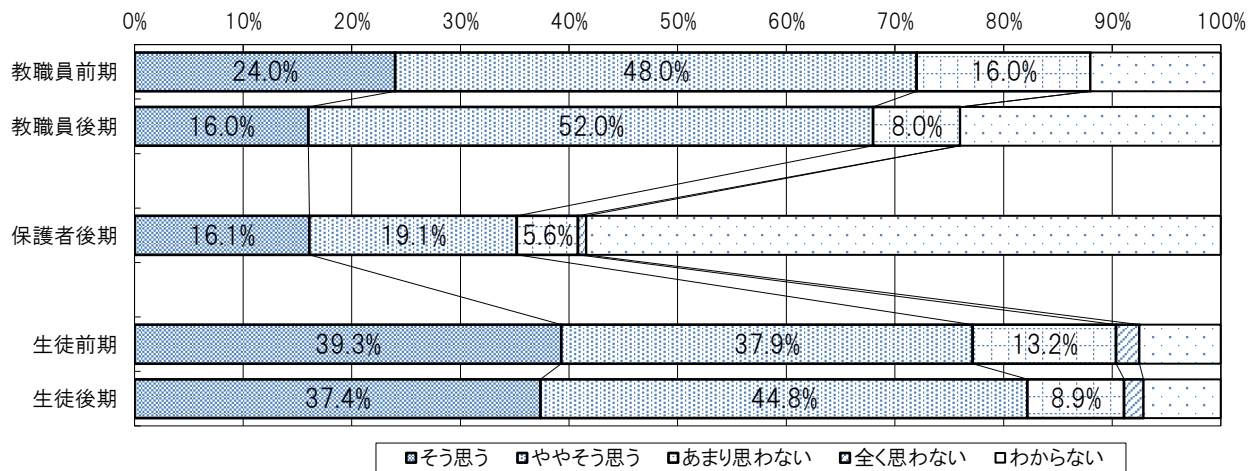


一人一人がしっかりとした考えをもって話し合いや学習に参加することで、学びが深まっていくと考えます。もっと知りたい、学びたいという気持ちを高められるように、仲間と関わり合う機会を多く取り入れていきます。



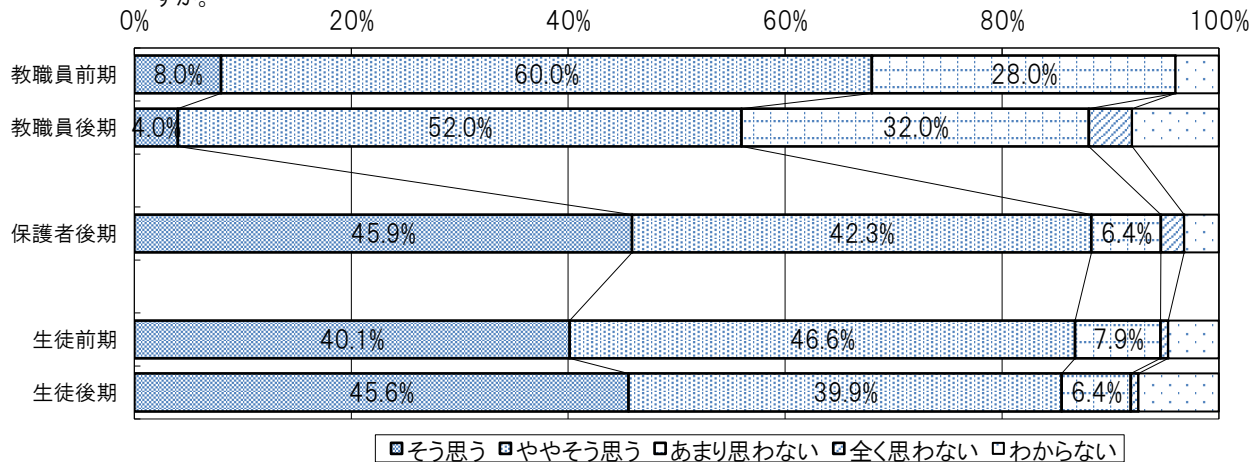
人に考えを伝えることで、自分の考えをまとめ、学びが深まっていきます。ただ伝えるだけでなく、わかりやすく伝えるために工夫することが大切です。「学びを深める力」を更に伸ばしていけるように指導していきます。

Q3 先生方は、生徒が楽しく学べるように、わかりやすい授業を行っていますか。



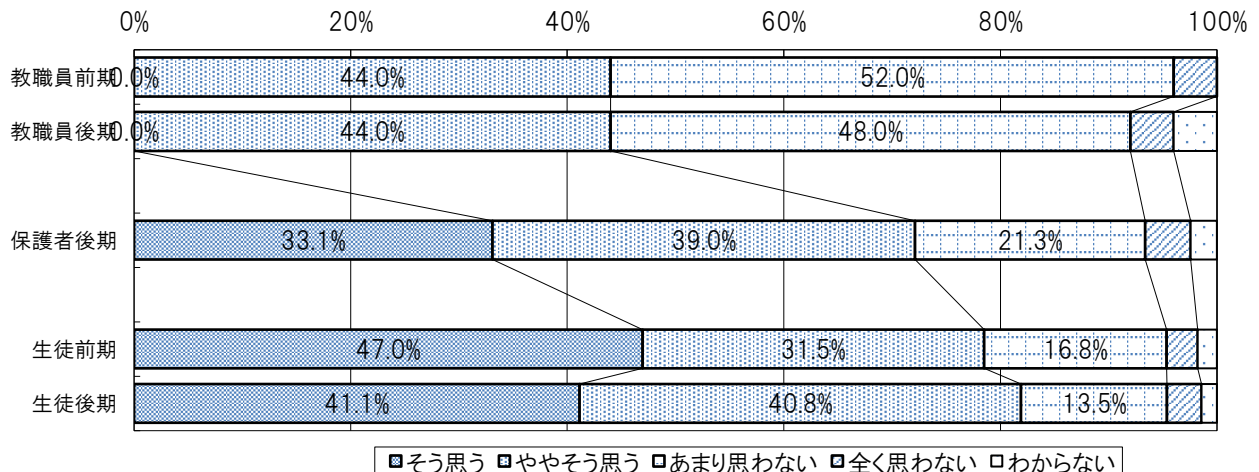
生徒にとって更に楽しい授業，わかりやすい授業になるように，教員どうして授業を見合う機会を増やし，授業力向上に努めます。次年度は保護者の方に参観していただける機会を20日間程設定します。

Q4 あなたは、他者の考えやいのちを尊重し、思いやりの心をもって人と接することができていると思いますか。

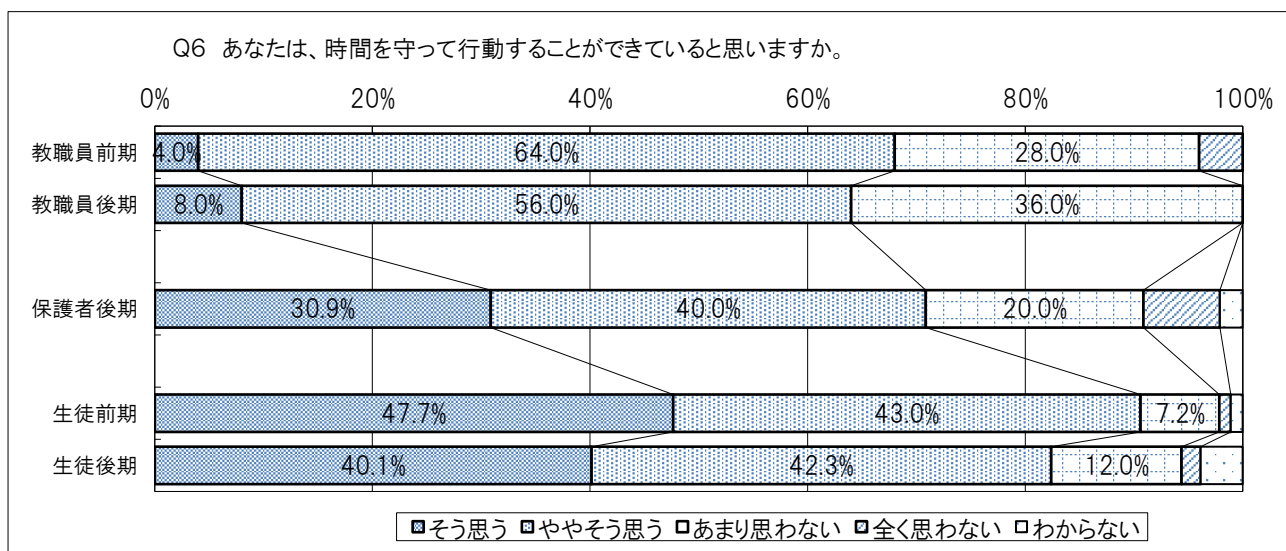


道徳科の授業を軸に，生徒たちの「心」を育てていきます。教職員一同生徒と関わる時間を多くもち，更に自らよい行いをする力を育てていくよう努力していきます。

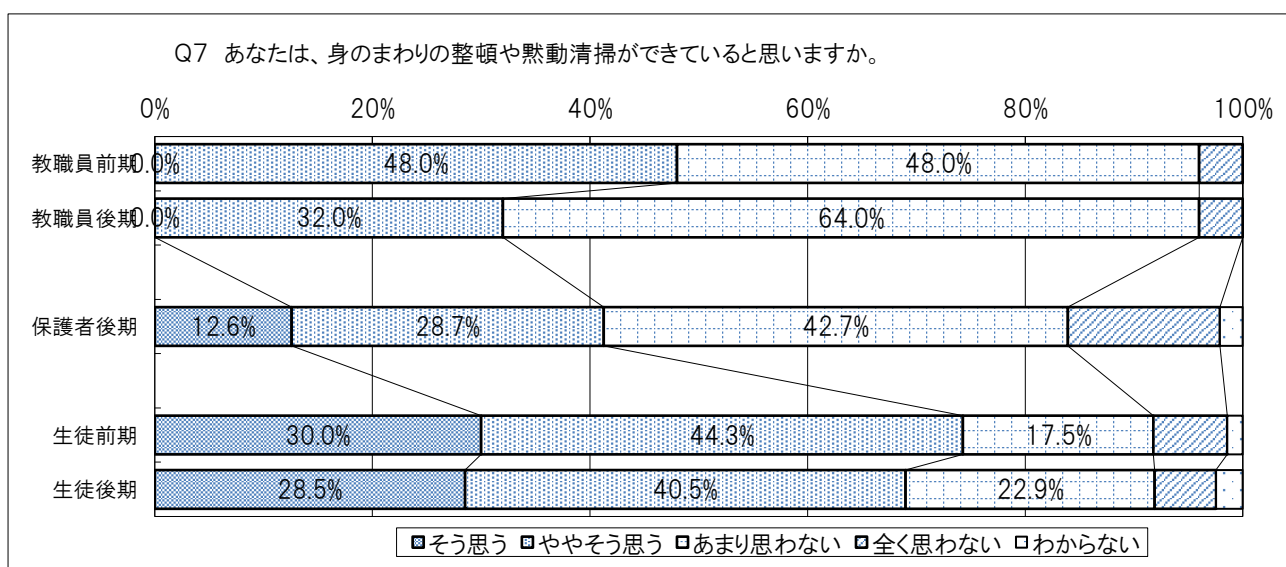
Q5 あなたは、自分から挨拶をすることができていると思いますか。



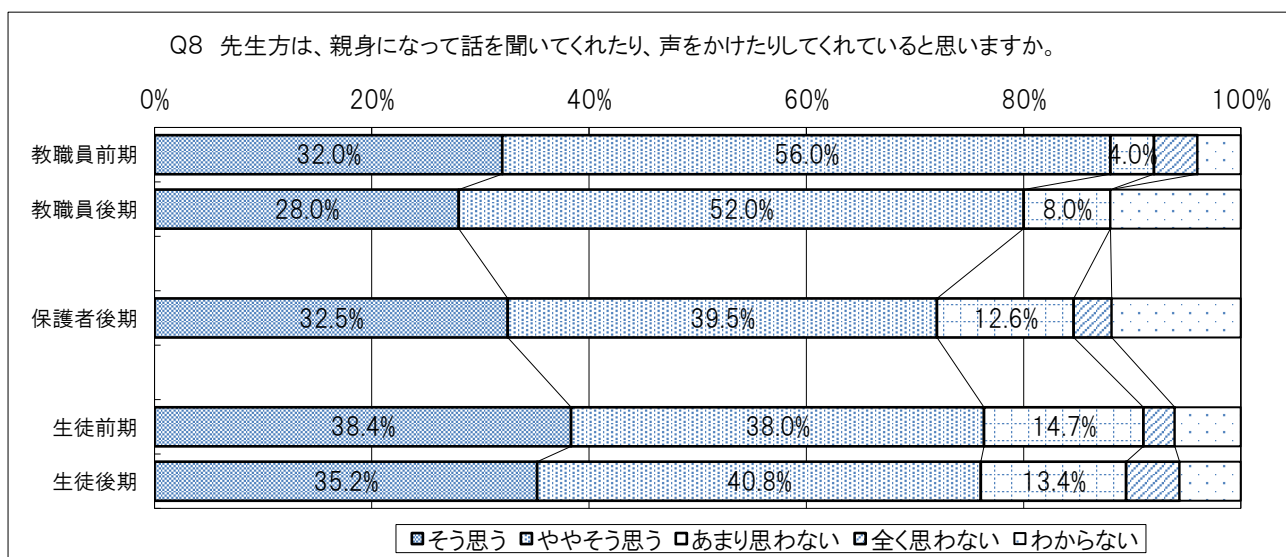
最近，さわやかに挨拶のできる生徒が増えています。また家庭や地域でも，挨拶のできる生徒が多いようです。挨拶を「自分から」ということを意識できるように，生徒会役員生徒とも話し合い高みを目指します。



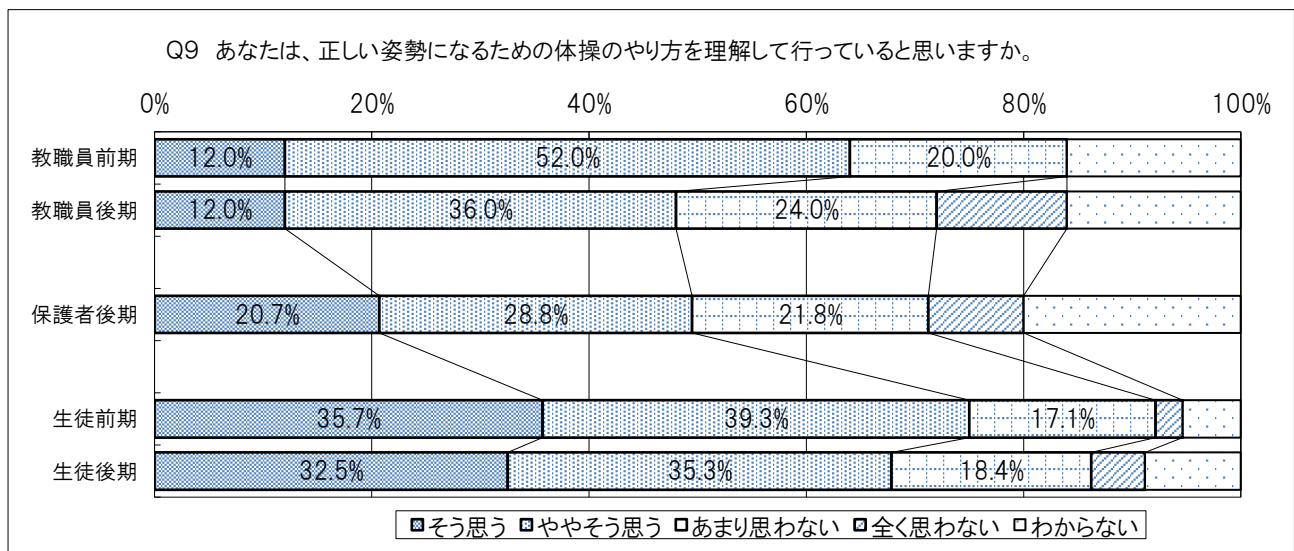
授業に関しては、開始時間等を意識して早めに行動している生徒が多い状況です。しかし部活動終了後、時間が守れないこともあります。今後も基本的な生活習慣の一つとして指導を進めていきます。



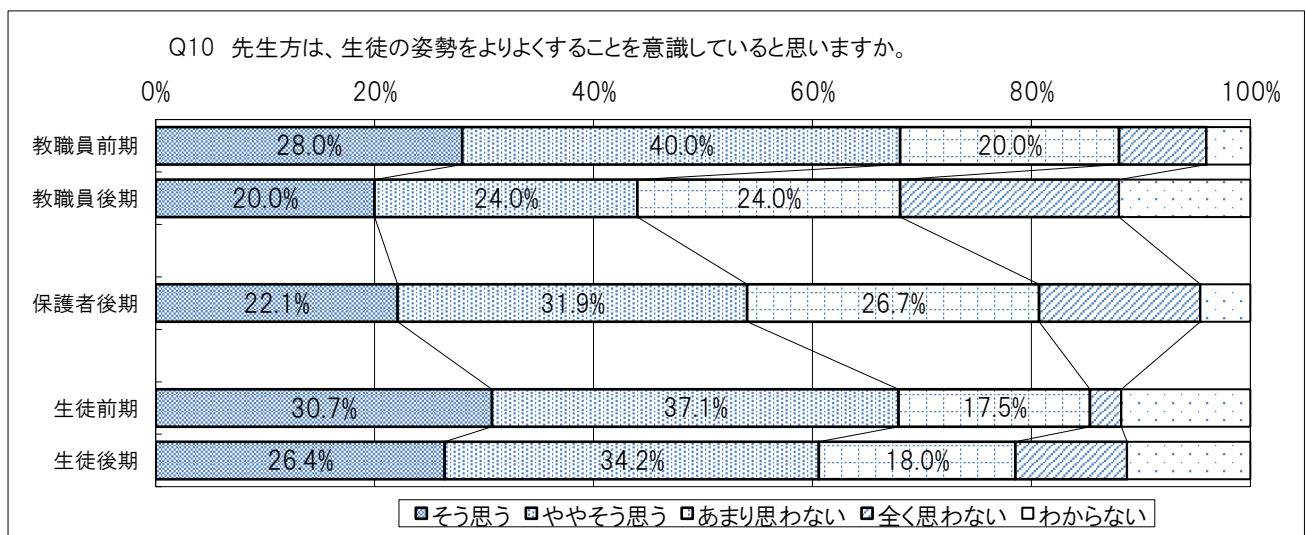
今年度は、掃除の時間が週2回になりました。日常のなかで、まわりの様子を気につけ、ごみを拾う、机やロッカーの中の荷物の整頓をするなど、すすんで動けるように働きかけていきます。



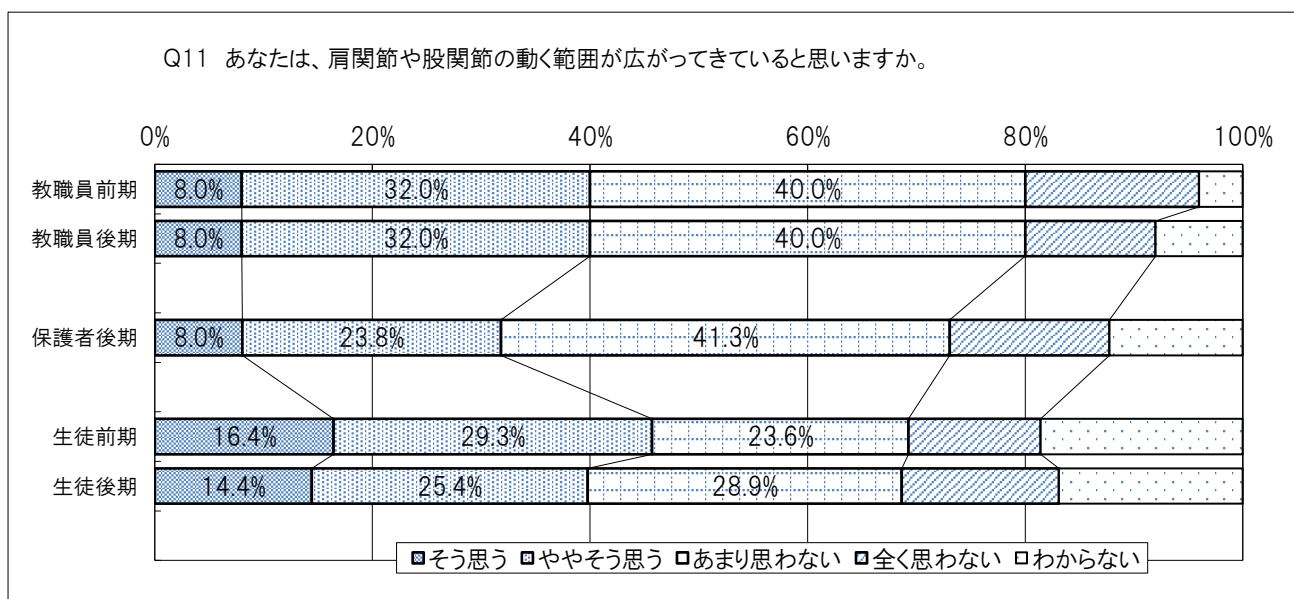
全職員で全生徒を育てる教育方針です。常に生徒に寄り添い、一人一人の声を聴くことを心がけています。今後も更に信頼されるよう、コミュニケーションを図っていきます。



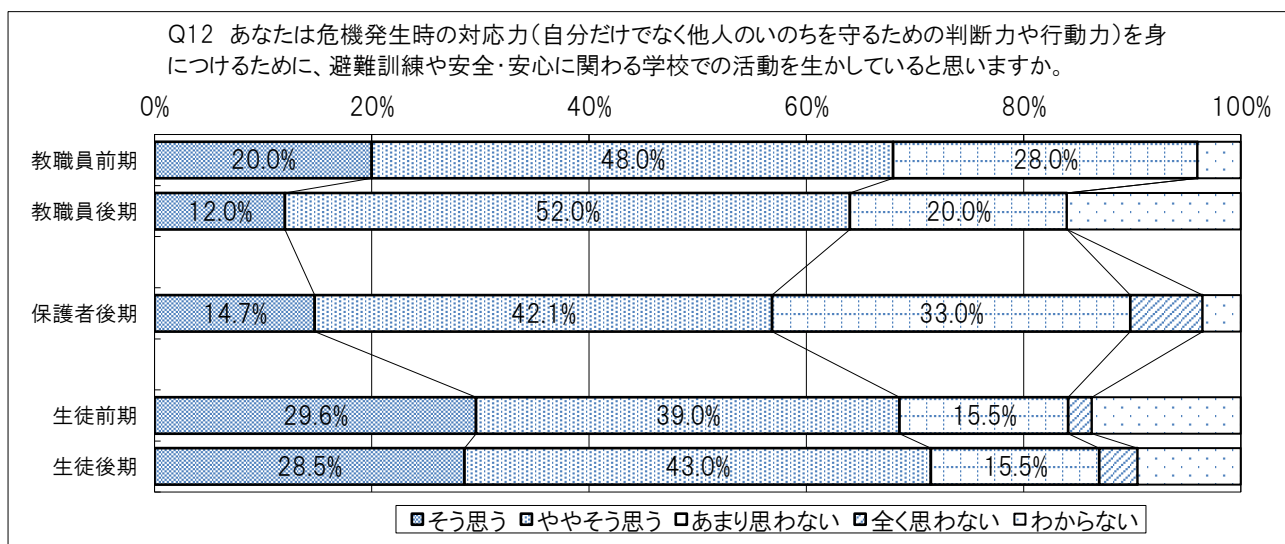
理学療法士の指導のもと、6月から毎朝全員で体操をしています。しだいにやり方、目的等の意識が低くなっているようです。改めて全体に声をかけ、意識を高めて、体操を行っていきます。



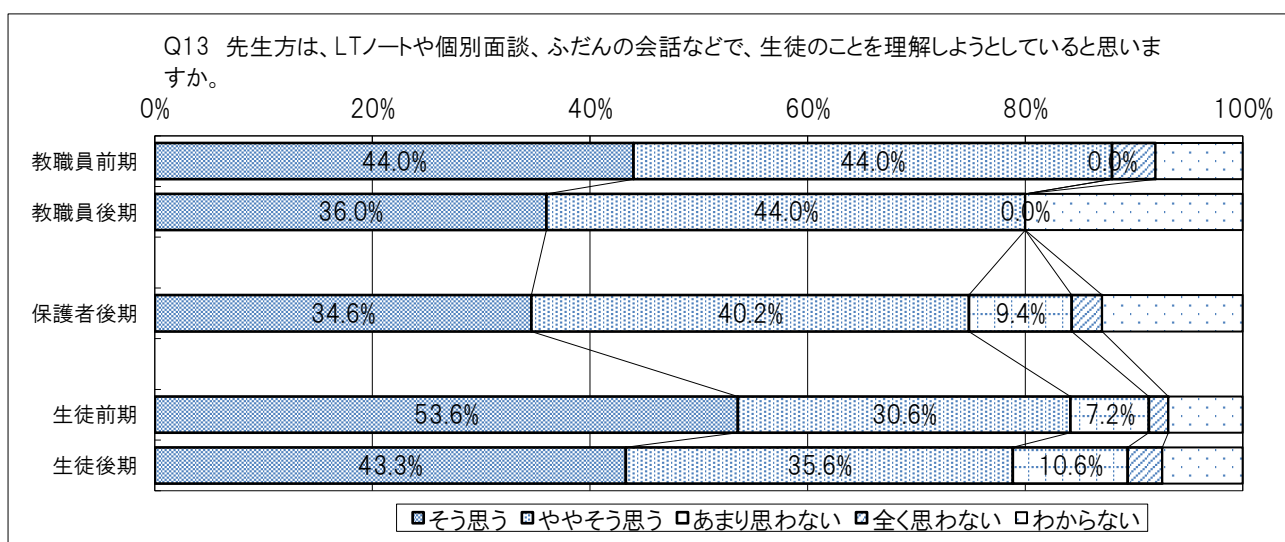
前期と比べて後期は、教職員自身の、生徒の姿勢に対する意識が低くなっていることがわかります。椅子に座っているときの姿勢、話を聞くときの姿勢などについて声をかけていけるよう、全職員で再確認します。



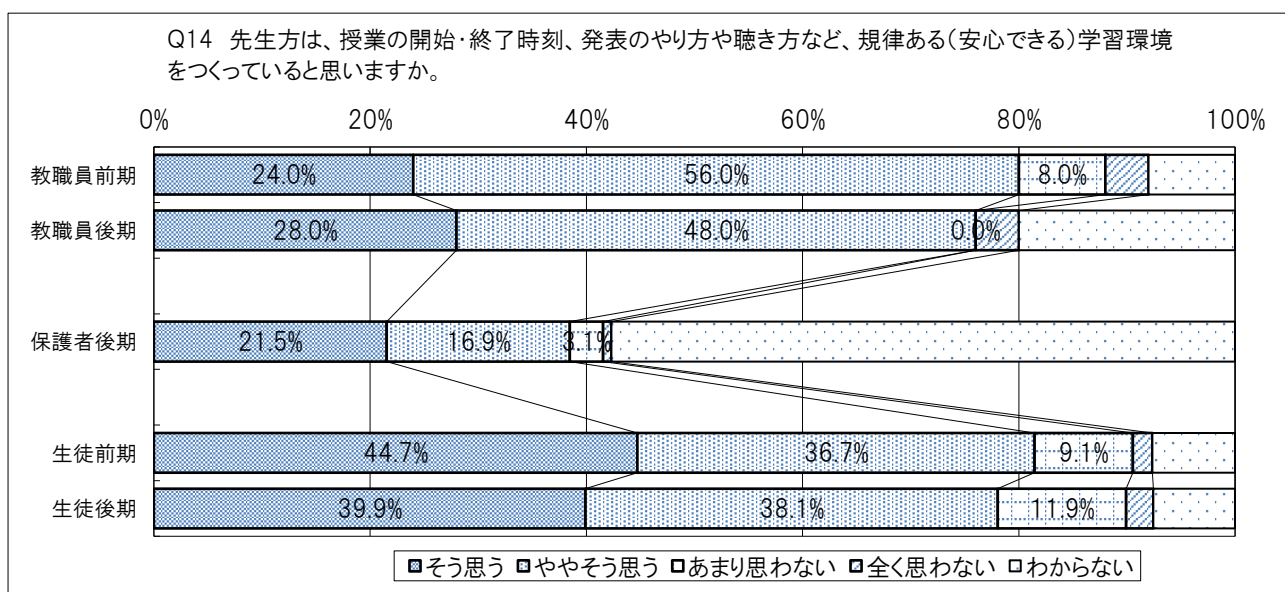
関節の動く範囲が広がってきていると感じている生徒、教職員は半数に満たない状況です。理学療法士の助言のもと、取り組み方の再検討を含め、よりよい実施方法を探っていきます。



いろいろな訓練を実施してはいても、危機発生時には臨機応変に動けるかどうか、とっさの判断力が必要です。今後も折に触れ、登下校中の安全面等、危機管理の話をしていきます。



授業や日常生活において、生徒理解をしたうえで指導することが大切です。面接時間を確保するよう努めるとともに、毎日のLTノートでの意見交換で悩みや心の状態を把握するようにします。



生徒たちの回答からは、規律ある環境で授業を受けられていることがわかります。今後も安心して学習に取り組めるように、教職員の意識を高め、あたり前のレベルを向上させていきます。